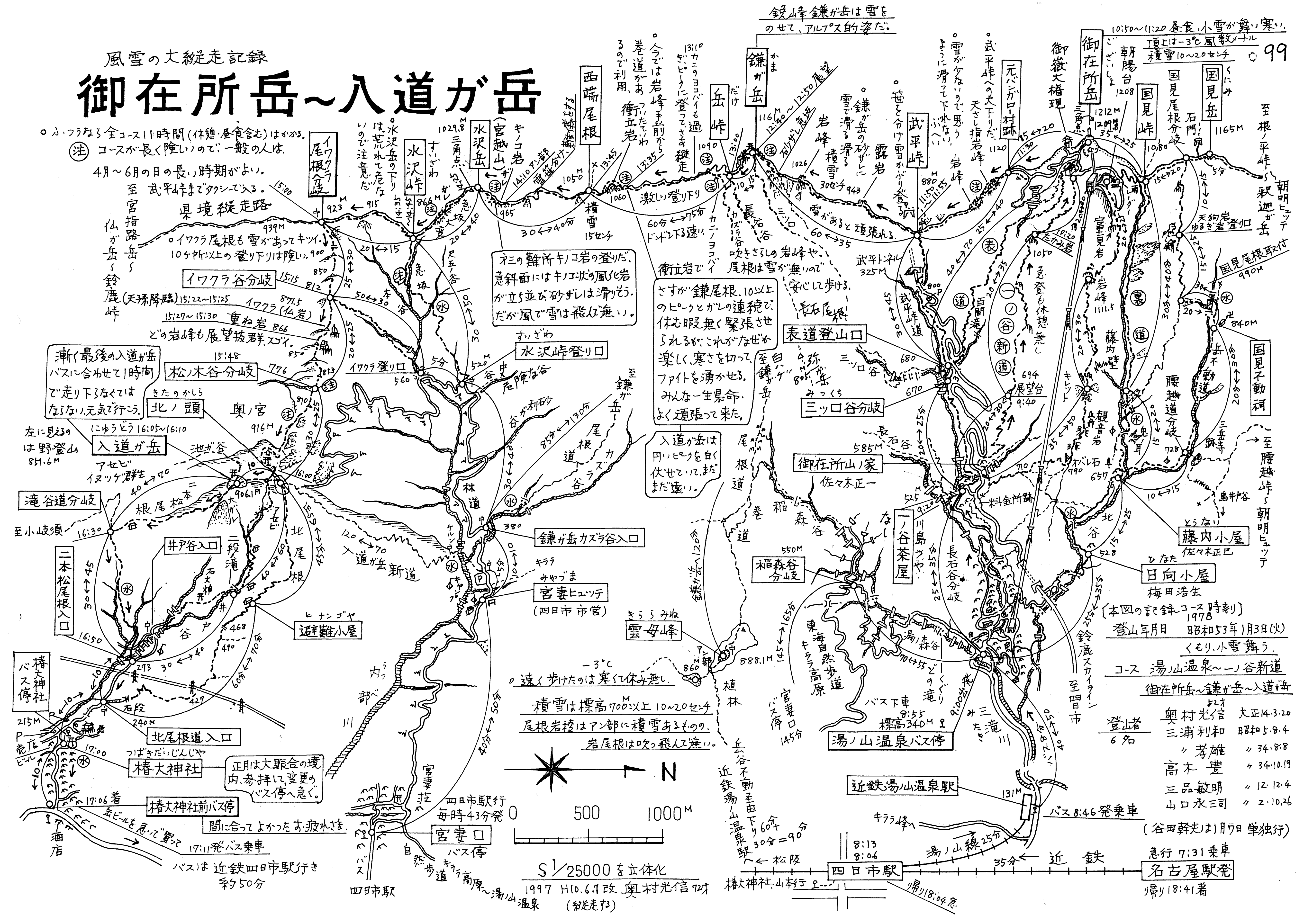
風雪の大縦走記録

御在所岳～入道が岳

○ ふつうなら全コース11時間（休憩・昼食含む）はかかる。

㊟ コースが長く険しいので、一般の人は、4月～6月の日の長い時期がよい。

武平峠までタクシーで入る。



鎌が岳（かま だけ）
岳峠 1090
西端尾根
衝立岩（ついたていわ）
水沢岳（宮越山）1029.8M 三角点
水沢峠（すいざわ）866M
イワクラ尾根分岐 923M
キノコ岩
ザレ
14:10 アン部
雪を分け、難儀する
13:45
13:35
13:00
1050M
1060
965
915
積雪15センチ
30↔40分
60分↔75分
激しい登り下り
急坂
大変
20↔40
20↔15
県境縦走路
至宮指路岳～仙が岳～鈴鹿峠
939M
900
850
812
871.5
866
776
813
810
916M
15:00
イワクラ谷分岐 15:15
イワクラ（仏岩）（天孫降臨）15:22～15:25
重ね岩 15:27～15:30
どの岩峰も展望抜群、スゴイ。
松ノ木谷分岐 15:48
北ノ頭（きたのかしら）
奥ノ宮
入道が岳（にゅうどう）16:05～16:10
左に見えるのは野登山 851.6M
アセビ イヌツゲ群生
池が谷
906.1M
16:00
10
40↔70
根尾松本二
大ガレ
滝谷道分岐
至小岐須
16:30
二本松尾根入口
井戸谷入口
30↔45
二段滝
石大神
北尾根
避難小屋（ヒナンゴヤ）
468
490
427
谷戸
60分↔70分
273
16:50
30↔40
40↔60
45↔55
椿大神社バス停
10↔
215M
石段
240M
北尾根道入口
売店
ビール
椿大神社（つばきだいじんじゃ）17:00
椿大神社前バス停 17:06着
酒店
缶ビールを急いで買って
17:11発バス乗車
バスは近鉄四日市駅行き約50分
イワクラ登り口
560
5分
水沢峠登り口（すいざわ）520M
危険な谷
谷ガ利砂
30↔40
10↔15
85分↔130分
至鎌が岳
尾根道
カズラ谷
鎌が岳カズラ谷入口 380
林道
ケルン
キャンプ
キララ
宮妻ヒュッテ（みやつま）（四日市市営）
入道が岳新道
120↔70
内部川（うつべ）
宮妻荘
40分↔50分
四日市駅行 毎時43分発
宮妻口
バス停
バス
四日市駅
自然歩道 キララ高原～湯ノ山温泉
本谷
尺五谷
急坂
カニノヨコバイ
カズラ谷
長石谷
三ツ口
岩峰
積雪30センチ
943
1026
露岩
12:40～12:50 展望
1161M
砂ザレ急坂
60↔35
雪があると頑張れる。
武平峠 880M 11:50～11:55
武平トンネル 325M
武平峠道
800
元バンガロー村跡 1120
11:30
天さし指岩峰
御嶽大権現
御在所岳（ございしょ）三角点 1212M 1209.8
朝陽台 1208
35↔25
15↔20
国見峠 1080
国見尾根分岐
石門
国見岳（くにみ）1165M
至根ノ平峠～釈迦が岳～朝明ヒュッテ
天狗岩 ゆるぎ岩登り口
国見尾根取付 990M
840M
国見不動祠
岳不動道
腰越道分岐
三岳寺
至腰越峠～朝明ヒュッテ
鳥井谷
728
657
藤内小屋（とうない）佐々木正巳
北谷
日向小屋（ひなた）梅田浩生
528
15↔25
表道
裏道
岩峰 1111.5
藤内壁
富士見岩
たかみ岩 10:20
1050
急登も休憩無し
一ノ谷新道
百間滝
キレット
展望台 694 9:40
観音岩
カベル石
710
790
表道登山口 680
三ツ口谷
三ツ口谷分岐（みつくち）670
長石谷
585M
御在所山ノ家 佐々木正一
525
9:20
料金所跡
一ノ谷茶屋
川島ゴヤ
長石谷分岐
至白鎌ガ岳
弥ヶ岳 805（みろく）
尾根道
巻道
稲森谷
稲森谷分岐 550M
鎌ケ岳へ120分
雲母峰（きららみね）888.1M
アン部 860
植林
−3°C
湯ノ森谷
東海自然歩道
キララ高原
宮妻口バス停 145分
145分
70↔55
くぐりの滝
三滝（みたき）川
9:00発
バス下車 8:55 標高340M
湯ノ山温泉バス停
鈴鹿スカイライン
至四日市
40↔50
近鉄湯ノ山温泉駅 131M
バス8:46発乗車
キララ峰へ
湯ノ線25分
近鉄
35分
四日市駅 8:13 8:06
←松阪
椿大神社、山本行
帰り18:04急
名古屋駅発 急行7:31乗車
帰り18:41着
岳谷不動尊
近鉄湯ノ山温泉駅へ 下り60分 30分＝90分
N
0 500 1000M

○ 水沢岳の下りは荒れて危ないので注意だ

○ 今では岩峰手前から巻道があるので利用、

13:10 カニノヨコバイも過ぎ、ピークに登ってさあ縦走

○ 鎌が岳の砂ザレに雪で滑る滑る

○ 笹を分け雪かぶり登る

○ 雪が少ないので、思うように滑って下れない、ふへい

○ 武平峠への大下りだ、

鎌ケ峰鎌が岳は雪をのせて、アルプス的姿だ。

10:50～11:20 昼食 小雪が舞い寒い。

頂上は−3°C 風数メートル

積雪10～20センチ

○ イワクラ尾根も雪があってキツイ。10ケ所以上の登り下りは険しい。

漸く最後の入道が岳バスに合わせて1時间で走り下らなくてはならない、元気で行こう。

オ三の難所キノコ岩の登りだ、急斜面にはキノコ状の風化岩が立ち並び砂ザレは滑りそう。だが風で雪は飛んで無い。

衝立岩で

さすが鎌尾根、10以上のピークとガレの連続で、休む暇無く緊張させられるが、これがなぜか楽しく、寒さを切って、ファイトを湧かせる。みんな一生県命、よく頑張って来た。

吹きさらしの岩峰や尾根は雪が無いので安心して歩ける。

入道が岳は円いピークを白く伏せていて、まだまだ遠い。

ドンドン下る速い。

○ 速く歩けたのは寒くて休み無し

積雪は標高700M以上 10～20センチ

尾根岩稜はアン部に積雪あるものの、岩尾根は吹っ飛んで無い。

正月は大賑合の境内、参拝して変更のバス停へ急ぐ。

間に合ってよかったお疲れさま

〔本図の記録コース時刻〕

登山年月日 1978 昭和53年1月3日(火)

くもり、小雪舞う。

コース 湯ノ山温泉～一ノ谷新道

御在所岳～鎌が岳～入道が岳

登山者 6名

奥村光信 52才	大正14.3.20
三浦利和	昭和5.8.4
〃 孝雄	〃 34.8.8
高木 豊	〃 34.10.19
三品敏明	〃 12.12.4
山口永三司	〃 2.10.26

（谷田幹夫は1月7日 単独行）

S 1/25000を立体化

1997 H10.6.7改 奥村光信 72才（縦走する）